

## 「廃棄物処理施設の基幹改良工事」 ～施設の長寿命化とCO<sub>2</sub>削減に貢献～

基幹改良工事では、老朽化した廃棄物処理施設の安定稼働を目的として、主要設備・機器の更新や改良による延命化を図るとともに、CO<sub>2</sub>排出量を削減します。施設を適切な管理のもと長期間にわたりお使い頂くことで、お客様の廃棄物処理施設に係わるトータルコストの縮減と平準化に寄与し、安定した安心・安全な廃棄物処理の実現に貢献します。

今回の事業は省エネ機器の導入や発電量の増加など、施設に最適な改良工事のご提案によるCO<sub>2</sub>排出量の削減により、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金を活用します。また工事は停止中の系列で順次実施することで通常操業に影響なく進めてまいります。

今後もこれまで培ってきた計画から設計・建設・運営・維持管理までの一連の基盤技術に最新の技術を導入し、新設工事のみならず高いニーズの基幹改良工事へ最適なお提案でお応えしてまいります。廃棄物処理関連事業を通じてSDGs実現に向けて取組んでまいります。

### 【工事の概要】

①工 事 名 称：加賀市環境美化センター基幹的設備改良工事

②施 設 竣 工：1996年3月

③工 期：2019年6月から2022年3月まで

④施 設 規 模：160 t/d (80 t/24 h × 2 系列)

⑤焼 却 方 式：流動床式焼却炉

⑥本工事の特長：

- ・稼働後24年経過した施設の機能を回復させ、工事後約15年間稼働可能なように延命化を図ります。
- ・給じんシステム、送風機用補機タービンを更新し、不燃物取出装置を最新の一体型に更新し簡素化を図ります。
- ・最新設備の導入、プレミアム効率モータ採用、インバータ化による省電力化によりCO<sub>2</sub>排出量を3%以上削減します。

### 【工事の概要】

①工 事 名 称：クリーンピア射水基幹的設備改良工事

②施 設 竣 工：2003年3月

③工 期：2019年6月から2022年2月まで

④施 設 規 模：138 t/d (46 t/24 h × 3 炉)

⑤焼 却 方 法：流動床式焼却炉

⑥本工事の特長：

- ・稼働後17年経過した施設の機能を回復させ、工事後約15年間稼働可能なように延命化を図ります。
- ・DCS（中央制御システム）、ボイラ水管、誘引通風機の更新に加え、給じんシステム、焼却炉の改造による空気比低減により更なる燃焼の安定化を図ります。
- ・発電効率を向上させ、発電量の増加と電力の逆潮流化により購入電力量の低減を図るなど各種省エネ対策によりCO<sub>2</sub>排出量を5%以上削減します。



加賀市環境美化センター 外観



クリーンピア射水 外観